

No.	事業	種別	担当課	質問(意見)	回答	備考
1	1	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	「家庭の日」推進事業等の実施について、課題に周知方法・申し込み方法などの工夫を挙げられているが、今回具体的にどのような方法をとられたのか。そのことが数値目標（集客、作品数、参加者数）にどのような影響を与えたと考えるか。	課題であった周知・申込方法の改善に向け、チラシへ二次元コードを掲載しオンライン申請を導入したことで、手続きの利便性を向上させました。 また、作品募集については市内小・中学校の協力を得て一括提出等のルートを確認しました。このような手続きの簡素化により、作品応募に対するハードルが下がり、イベント等の集客及び参加者数の増加につながりました。	
2	1	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	家庭教育講座では、内容の決定経緯やその評価（参加者アンケート）などを明らかにされると課題にあるような「検討課題」に繋がると思います。		
3	2	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	今回、カルタ大会については対象を拡大されたと記述がありますが、参加者の数値目標（小・中）の設定はありますか。また、課題に「更なる事業周知」とありますが、今回は具体的にどのような周知をされたのか。	参加者数の数値目標は、定員に設定した各部門32チームとなります。 参加者増加のため、広報あきる野、HP、小学生へのチラシ配付による周知を実施したほか、放課後子ども教室でカルタ遊びを取り入れ、児童に体験してもらいました。	
4	2	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	あいさつ運動の推進で標語の「懸垂幕」掲出の効果をどう考えるか。課題にある「その他の効果的な手法」とは何を想定されているのか教えて下さい。	懸垂幕の掲出により、市民の目に触れることで「あいさつ運動の推進」の取組の周知が図られていると認識しています。 その他の効果的な手法としては、若年層への周知はSNS、るのキッズweb（アプリ含む）といったデジタル媒体の活用を想定しています。	
5	3	質問	図書館	今回の取り組みの成果、評価の記述が欲しいです。（事業ごとの参加者アンケート等は？）また、課題にある「読書活動が困難な子ども」の数の把握はできていますか。（資料充実の目標設定のために必要かと）	一部事業のみ参加者アンケートを実施しています。アンケートについては、参加者から直接感想を聞いたりしています。 どの事業も好評を得ています。 読書活動が困難な子どもの数は、把握していません。	
6	4	質問	指導室	講演会については、今回PTA連合会と周知などで具体的にどのような連携をされたのですか。課題に「規模に応じた会場確保」とあるが、過去の参加者数の動向は分かりますか。今回、84人の参加者アンケートは取られていますか。また、その結果等を含め全体的な評価はどのようになされていますか。	・PTA連合会と企画段階から協議し、講師選定やチラシ作成、学校周知、地域施設へのポスティング等を一体となって実施しました。 ・講演会参加者数の動向 令和5年度：38人、令和6年度：44人、令和7年度：84人増加傾向ですが、会場の席数に対し空席が多い状況となっています。 ・アンケートでは、講演内容等について高い評価を得られた一方で、参加者同士が対話できる時間の確保が課題として挙げられました。今後の実施の参考とさせていただきます。	
7	4	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	PTA連合会への活動支援補助金はこの事業に対してのみ交付されたものですか。	PTA連合会への補助金については、主に以下の取組に対する支援として交付しています。 ①15の小中学校PTAに対する活動補助金 ②教育フォーラム（講演会）開催 ③諸会議（総会含む）開催	
8	5	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	今回の託児付き講座として実施された3つの事業のそれぞれの利用された保護者の人数を教えてください。保育者の確保については、既存リストに登録されている方の人数と課題にある「新たな確保策」について何かお考えはありますか。	3事業で各1人の利用がありました。現状は利用実態が多くないことから既存リストで対応していますが、今後登録者を増やすための方法を検討中です。	

9	6	質問	図書館	団体貸出の実施では貸出の件数(冊数)の数が、一つの評価指標となりますが、ここ数年の傾向はどうか。課題に「継続した周知活動が必要」とありますが、今回、どのような周知活動をされましたか。	学校図書館連絡会で周知し、学級貸出:25件・1,197冊。また、総合学習支援貸出:19テーマ・434冊を貸し出しました。	
10	6	質問	図書館	学校図書館連絡会については、年2回の開催回数や及び内容(情報交換と学校図書館の訪問)について、どのように評価されていますか。(課題の記述が気になります)	各学校の図書担当教員とよい情報交換の場となり、学級貸出や総合学習支援の利用促進につながりました。	
11	7	意見	生涯学習推進課(生涯学習係)(公民館係)	「市民解説員」の派遣については、施設、学校等からの要請への対応については評価されていますが、一方で他の項目で「市民解説員」については、高齢化(身体的)の問題から課題とあると指摘されています。市民解説員の育成・継承、人材情報の提供及び人材バンク制度の活用などで、地域人材の掘り起こしや相談及び調整を担うコーディネーターの配置(学校においては地域学校協働本部機能の一つ)も急務であると考えます。		市民解説員の派遣要請に確実に応じる一方、高齢化に伴う人材育成と継承は課題と認識しています。学校と地域学校協働本部等コーディネーター機能との連携を検討し、学校のニーズと地域人材を円滑に結びつける体制づくりに努めます。
12	8	意見	生涯学習推進課(生涯学習係)	小学校における「地域学校協働本部」の取組みに対する評価(学校ごと)も必要かと思います。本部は学校と地域資源をつなぐ大きな役割をもっていますから、学校を核として機能して地域全体の教育力を高める取組みを期待します。中学校においても早急な設置(体制づくり)が必要かと思います。		
13	9	意見	生涯学習推進課(文化財係)	他の地域では、民俗芸能団体の半数以上が継続困難(約2割)、休止(全体の約4割)に追い込まれているところもあります。一度、休止してしまうと復活は極めて困難となりますから、先ずは課題にあるように休止にさせないために団体の現状、ニーズの把握、対策が急務かと思います。また、総合的な学習においては、指導室の記述にあるように「地域人材の一時的な活用でなく、地域の実態を踏まえた課題を設定し、学習を深めていく」ことも長期的な視点から重要な視点かと思います。		
14	10	質問	生涯学習推進課(生涯学習係)	善行表彰は青少年だけでなく、きめ細かく地域の隠れた善行者を見つけ出すことも大事な視点かと思います。担当としては、アンテナを高くしなければいけません、どのようにされていますか。	市内の学校をはじめ、市内外の各機関に善行者の推薦依頼をしており、担当課だけでなく広い視野で善行者を見つけるよう努めています。	
15	10	意見	生涯学習推進課(生涯学習係)	青少年健全育成団体に対しては、取組のあるようなきめ細かな活動支援は重要かと思います。		
16	11	質問	生涯学習推進課(生涯学習係)	放課後子ども教室の保護者アンケート結果で特筆すべきところがあれば教えて下さい。(併せて評価も)また、課題にある活動サポーター等への取り組みについて、今回、実施されたもの(内容)等はありませんか。	保護者アンケート結果では、活動時間の延長、長期休暇期間の実施など、実施内容の拡充を希望する回答が過半数を占めました。活動サポーター等への取組については、資質向上を図るため、令和7年度に運営スタッフ全体研修を開催しました。研修では大学講師を招き、「子どもの特性」や適切な向き合い方を学ぶ講演を実施しました。	
17	11	意見	生涯学習推進課(生涯学習係)	「放課後子供プラン運営委員会」のPDCA、期待しています。		
18	12	質問	指導室	「職場体験学習」の取組みの成果について、総括な評価を教えてください。生徒の受け入れ事業所、人数の拡大に特段のご苦労はあるかと思いますが、全ては子どもたちのため頑張ってください。	職場体験は、生徒が働く意義や地元の職業を知り、社会性や郷土愛を育む貴重な機会になったと捉えています。	
19	13	意見	指導室	栗原市の中学生との交流事業は、取組みに記述にあるように大きな成果があったと思います。課題にある年1回でなく「交流機会の拡大」は重要なので取り組んで欲しいです。(リモートでの交流もいいかと思います)		
20	13	意見	生涯学習推進課(生涯学習係)	大島こども体験塾は指導者等の人材確保の観点、生徒交流からの視点からも共同開催方式がいいと思います。		

21	13	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	海外との教育交流事業については、行政主導で進められていると思いますが、裾野を広げた国際交流推進のためには、新たに国際奉仕団体への働きかけなどを行い、民間からの支援の輪も広げて欲しいと思います。		国際交流の推進に当たっては、3つの市民団体（あきる野市国際化推進青年の会、あきる野ホストファミリークラブ、あきる野国際友好クラブ）との調整（働きかけ）を行い、支援を得て実施しております。
22	14	意見	スポーツ推進課 図書館 生涯学習推進課 (生涯学習係)	子どもの奉仕活動として、中学生の職場体験としての受け入れ機会の促進は重要かと思えます。市の施設で未実施の施設があることは問題なので一層の努力をお願いしたいと思います。先ずは施設における受け入れ体制の把握、整備が必要であることには同意しますが、職場体験の実施にあたっては指導室及び学校の役割が大きいことから調整等に一層の尽力をお願いしたいと思います。		
23	15	意見	指導室	総合的な学習の時間については、課題に記述があるように「充実した体験や交流ができています」ことから成果は大きいと考えます。文科省は令和4年6月に「子どもの体験活動推進宣言」を行っておりますが、課題にあるように総合的な学習の時間における体験の教育的意義についての理解を広く発信して欲しいと思います。		
24	16	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	人材バンクの登録件数59件（個人52件、団体7件）の評価については、「積極的に登録できるようにすることが課題」とありますが全体的な評価を願いたいと思います。		活用件数を増やすためにも、現在よりもより広い分野で活動できる人材の確保、事業の周知が必要と考えます。
25	16	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	体験活動支援センターの充実では、「資機材を維持管理することが課題」と評価されていますが、その意味を教えてください。	経年劣化への対応、安全性の確保、保管スペースと管理負担の3つの側面における課題を意味しております。	
26	16	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	大島こども体験塾は指導者等の人材確保の観点、生徒交流からも共同開催がベストだと思いますが、課題にある「参加者及びリーダーの応募が安定」する方策について言及されていますが、具体的にはどのようなことを考えておられますか。	子どもたちの参加は、学校、地域の青少年健全育成団体、地域学校協働本部と連携した声かけ、SNSを活用した保護者への周知を検討します。 リーダーの確保に向けては、羽村市と共同で近隣の高校や大学に募集を働きかけ、合同研修会等の開催を検討し、安心して参加できる体制を検討します。	
27	17	質問	スポーツ推進課	各種大会・教室等の実施の取組みの参加者数は増加したとのことですが種目別の経年変化を教え下さい。課題に「サービスや仕組みの充実・改善が必要」と記述されているが具体的にどのようなことを検討されていますか。	別紙「（事業17）スポーツ事業等活動状況推移」のとおりです。	
28	17	質問	スポーツ推進課	スポーツ少年団については、本市での種目数と登録者数を教えてください。	令和7年度時点、10種目・会員979人	詳細は別紙「NPO法人あきる野市スポーツ協会スポーツ少年団加盟団体」をご参照ください。
29	17	意見	スポーツ推進課	日本スポーツ協会によると、野球、バスケ、サッカー、テニスなど約60種目全国に約2万4千団体ありますが、全国のスポーツ少年団の登録者数は、1986年の約112万人をピークに右肩下がりで、現在は約51万人と半減以上となっています。また、少子化のペースを上回る減少率となっているとのことです。（令和7年12月12日現在）		スポーツ協会や各種スポーツ団体活動では、会員の高齢化や担い手、世話役の不足などにより、会員数や活動規模が縮小傾向にあります。今後、地域のスポーツ活動を持続可能なものとしていくため、担い手の確保・育成や若い世代が参画しやすい環境づくり、団体間の連携など、スポーツ団体の活性化に向けた方策について、スポーツ推進審議会でも議論していきます。

30	17	意見	スポーツ推進課	課題の記述では、「子どもたちのスポーツ離れを防ぐために、ジュニア期の普及事業等について検討する」とあるように、子供たちにスポーツを楽しむ機会の提供と健康や体力の向上を図る上で、大変重要な施策であると思います。		子どもたちがスポーツの楽しさを感じ、継続してスポーツに親しむことができるよう、気軽に参加できる機会の充実や、多様なニーズに応じたスポーツ環境の整備、地域スポーツ団体等との連携など、子どものスポーツ離れを防ぐ方策について、スポーツ推進審議会で議論していきます。
31	18	質問	生涯学習推進課（公民館係）	ここ数年の参加人数の変化はどうか。成果指標としてアンケート等による受講者の年齢、理解度、反応は重要ですが、アンケートを取られていたら結果を教えてください。	各講座ともに若干ですが増加傾向にあります。アンケート結果も好評でした。スマホの使い方についての感想の一例ですが、「沢山新しいことが学べるのがとてもいいです。」や「スマホの知識をもっと勉強したいと思った。」等の感想が寄せられています。	
32	19	質問	生涯学習推進課（公民館係）	NHK学園との共催事業へのここ数年の参加人数の変化はありますか。成果指標としてアンケート等による受講者の年齢、理解度、反応は重要ですが、アンケートを取られていたら結果を教えてください。課題に「様々な民間学習事業者及び大学などと連携した継続した学習機会の提供が必要」とありますが、具体的に想定（働きかけ）をしている事業者・大学（連携協定を結んでいる大学など）はありますか。あったら進捗状況を教えてください。	NHK学園との共催事業は、より多くの方が受講がしやすいように、通年実施の講座のほかに単発の講座や短期講座を増やすなどの工夫をしたことで、受講者数は増加しています。 NHKや明星大学（市の「包括的な相互協力・連携に関する協定」）との連携事業を実施してきました。NHK共催事業としては、NHK事業センターとの共催でNHK主催特別展に関連した講演会を令和7年度に3事業実施しました。明星大学との連携事業については、令和4年度から6年度までICT関連講座として、プログラミングワークショップを実施しました。令和8年度は別の内容で計画中です。	
33	20	質問	生涯学習推進課（公民館係）	市民企画講座（国際理解）の参加者数を教えてください。課題の「今後の引き続き講座のテーマとしたいとありますが、アンケートなどによるニーズ調査や受講者の反応はどうだったかも教えてください。	参加者は20人です。アンケートにおいて、参加した動機について、世界経済に興味があったとする回答が一番多く、「国際経済・日本経済の今昔を話され興味深かった。」や「とても勉強になった。」などの感想をいただいています。	
34	20	意見	生涯学習推進課（生涯学習係）	市民サークルとの協働では、教育交流事業においては「国際化推進団体」（国際化推進青年の会）は欠かせない存在と評価されていますが、国際理解のための学習機会の拡充のためには、新たな国際奉仕団体への働きかけなど、裾野を広げた取り組みも必要かと思います。		既存の枠組みにとらわれず、地域に埋もれている多様な市民団体への働きかけも視野に入れ、連携の輪を広げる取組を検討します。
35	20	質問	企画政策課	「国際貢献活動等に関する情報提供の実施」については、内容的には、「外国人住民に対する生活支援等」になっているので、内容に合った事業名に変更するか、「21 外国人に向けた学習機会の充実」に組み入れるか、国際貢献活動等は事業名に沿った内容の書き換えが必要ではないかと思いますが。	次期計画において、「多文化共生社会を目指した学習の支援」として整理・統合する予定です。	生涯学習推進課回答
36	21	質問	企画政策課	外国人相談窓口の相談件数のここ数年の件数の推移を教えてください。（併せて、多言語翻訳機の利用件数の推移も教えてください）	外国人相談窓口については、主に各担当部署へつなぐ役割を担っており、相談件数の集計は行っていません。多言語翻訳機の利用件数については集計を行っており、実績は以下のとおりです。 令和7年度：14件、令和6年度：14件、令和5年度：9件、令和4年度：23件、令和3年度：24件、令和2年度：46件	

37	21	質問	生涯学習推進課 （公民館係）	日本語学習に関する問い合わせや相談件数は0件とのことですが、ここ数年の問い合わせ及び相談件数の推移を教えてください。	問合せ・相談については、数年ありません。	
38	22	質問	生涯学習推進課 （公民館係）	市民企画講座、男女共同参画啓発事業「女と男のライフフォーラムinあきる野」のそれぞれの参加者数を教えてください。（リモートライブ希望者数も）	市民企画講座のうちリモートライブを行ったのは1講座で、参加者数は33人（会場16人、リモート17人（講座関係者含む））です。男女共同参画啓発事業「女と男のライフフォーラムinあきる野」については、参加者数は79人（会場73人、リモート6人）です。	
39	22	質問	生涯学習推進課 （公民館係）	リモートライブ希望者は少なかったということですが、リモート配信の周知はどのようになされたのか教えてください。	市の広報やホームページを始め、参加者募集の市配信メールや月刊「のらぼう」、チラシ・ポスター等により周知を行いました。	
40	23	質問	図書館	ここ数年のアクセス数に大きな変化はありますか。（令和3年度の図書館ホームページアクセス件数は315,505件で比較では約マイナス23,648件とありました）	機械的なアクセスによる変動もあるため大きな変化とまではいえません。（アクセス障害）	
41	23	質問	図書館	講座の動画サイトへの配信の大きな障害は著作権だけですか。	録画環境及び配信体制が整っていません。	
42	24	質問	生涯学習推進課 （生涯学習係）	課題にある在宅学習者のニーズの把握方法としてどのような方法を検討していますか。	ホームページを活用したアンケート調査、講座参加者を対象とした意向調査など、多角的な方法を検討します。	
43	25	意見	生涯学習推進課 （生涯学習係） （文化財係） （公民館係）	アンケート実施しているイベント、講座、講演会などの結果は、必ずこの取組状況調査に記載するように主管課に周知を徹底して欲しいと思います。		アンケート調査実施の徹底を周知します。
44	26	質問	スポーツ推進課	各種大会、講習会等の参加者についてはここ数年の状況を教えてください。現在、遊びのような運動も含めて、体をほとんど動かさない人やスポーツをしない子どもが増え続けている状況も中で、これまで主な生涯スポーツとしてウォーキング、体操、トレーニング、ランニング・マラソンが挙げられていましたが、課題にも記述があるように「時代の変化や多様化する市民ニーズに対応し、更なる充実と改善」の取り組みは急務であると考えます。	教室、講習会等の参加状況（年度推移）については、別紙「（事業26）各種スポーツ事業等活動状況推移」のとおりです。スポーツ推進課で直接実施している事業については、資料のとおりですが、市が支援する総合型地域スポーツクラブや指定管理者制度により運営する秋川体育館、五日市ファインプラザ等では、指定管理者の自主事業等で各種事業を実施しています。	
45	26	意見	スポーツ推進課	総合型地域スポーツクラブの課題は、「人材確保」では人材の世代交代、後継者確保、指導者の確保があり、「財政的自立」では受益者負担による財源確保が課題であると言われている。課題に記述があるように相談及び支援体制の構築が急務であると考えます。		市内の総合型地域スポーツクラブについては、平成22年に秋川地区を中心に活動する「あきる野総合スポーツクラブ（通称アスポルト）」、平成24年に五日市地区を中心に活動する「五日市クラブ」が、市の支援団体として立ち上がり、それぞれ、地域スポーツ活動を推進していたが、人口減少や会員の偏在により、会員確保難、財源・人員逼迫、後継者確保等が深刻化し、令和7年4月に両クラブが統合し、「あきる野総合スポーツクラブ（通称ルーノ）」として持続可能な地域スポーツ活動を展開しています。引き続き、団体との連絡調整、相談等市も支援要綱に基づき対応していきます。
46	27	質問	スポーツ推進課	スポーツ協会加盟団体の会員数の推移を教えてください。	別紙「NPO法人あきる野市スポーツ協会加盟団体」のとおりです。	

47	27	意見	スポーツ推進課	「スポーツ離れ」について国の調査では「仕事や家事が忙しいから」が37.2%と最も多く、「面倒くさいから」が27.4%と続いている。また、「現在運動・スポーツはしておらず今後もするつもりはない」と答えた無関心層の割合は17.6%と増加傾向にある。（令和5年度文科省調査）このような意識調査結果をどう生かして、どのような環境整備が有効か検討する必要があると思います。		多様なニーズに応じたスポーツ環境の整備、地域スポーツ団体等との連携など、スポーツ離れを防ぐ方策について、スポーツ推進審議会で議論していきます。
48	28	意見	スポーツ推進課	高齢者に限らず、まずは安全・安心のスポーツ環境整備は基本かつ重要と考えます。 令和6年度の国の調査によると、20歳以上の週1日以上運動・スポーツ実施率は52.5%、高齢者もこの傾向に近いと考えられている。特に高齢者向けスポーツとして、取り組みにあるように介護予防・健康増進活動が活発に行われており、その他の団体ではボールウォーキングや「いきいき100歳体操」、太鼓リズムゲームを用いたeスポーツ体験などの楽しみながら継続できるプログラムが提供されている。（令和5年度文科省・スポーツ庁） こうした背景からスポーツ推進委員等を中心に高齢者向け事業の新たな展開に期待をしています。		
49	29	質問	スポーツ推進課	二つの教室（障がい者スポーツ教室・障がい児水泳教室）の参加者数の推移（傾向）を教えてください。	参加状況（年度推移）については、別紙「（事業26）各種スポーツ事業等活動状況推移」（青字記載）のとおりです。参加者については、継続して参加する方が多く、事業（内容）により増減の傾向があります。	
50	29	意見	スポーツ推進課	東京都障害者スポーツ協会等と意見交換されていますが、協会の「パラスポーツ地域サポート事業」ではアドバイザーや協力員の派遣も可能と聞いています。 課題にもあるように、支える人材（指導者や支援者、ボランティア、介助者など）の発掘から始まり、どのようにネットワーク化するかの戦略が必要かと思います。（一つの教室でモデル事業として一度展開してみたらどうでしょうか）		東京都、都障がい者スポーツ協会、市社会福祉協議会、市障がい者関係部署と連携し、令和6年度から意見交換会を行うなど、障がい者スポーツについて検討しています。障がい者スポーツ教室でもそれらの意見を参考にしながらブラッシュアップしています。
51	30	質問	スポーツ推進課	ヘルシーウォーキングの参加者数の推移と実人数と年齢別などを教えてください。本計画における市の特性を生かしたメイン種目は「ウォーキング」ですが、これ以外でどのような種目を候補として検討されていますか。	ヘルシーウォーキング参加状況（年度推移）については、別紙「ヘルシーウォーキング推移」のとおりです。自然環境を生かした種目としては、アウトドアスポーツが考えられ、民間事業者や山岳連盟等の団体が活動していますが、市として事業の後援等がある際には、関わっている状況のみになります。	
52	31	質問	健康課	地域健康教室の平均参加者は約15名ですが、属性（性別・年齢等）を教えてください。 情報提供の方法について、課題に広報・ホームページ以外の方法のご提案がありますか。（イベント、地域での周知）これまで実施してこなかった特別の理由はありませんか。	男性32%、女性68% 40歳～64歳：8.2% 65歳以上：91.7% 情報提供の方法でイベント等を実施してこなかった理由は、市イベントは市外の方が多く来場することから、市民対象事業である地域健康教室は周知していなかったためです。	
53	31	質問	健康課	課題に「各種健（検）診については、引き続き受診率向上のため案内及び申込方法について検討が必要」とありますが、今回（これまで）の案内及び申込方法の問題点を教えてください。	毎年、同様の案内及び申込方法となっているため、特に健康に関心の薄い層に対して、効果的な周知が実施できていません。また、勧奨通知についても同様となっています。	

54	31	質問	健康課	課題に「市民ボランティア募集」とありますが、市民ボランティアに期待（想定）している役割はなんですか。	以下を期待（想定）する役割としています。 ・行政と協働で健康づくり事業の企画運営に主体的に関わる ・地域での活動を通じて、市民同士のつながりを促進し、市全体の活性化へ貢献すること ・自身や地域の声を市民の声として行政に届けること	
55	32	質問	高齢者支援課	課題に「内容について検討する必要がある」との記載がありますが、具体的には、様々な普及啓発活動を実施したいという意味でしょうか。	ご認識のとおりです。	
56	33	意見	生涯学習推進課（文化財係）	市独自の文化財指定基準を作成中ということですが、貴重と判断される文化財の散逸を防ぐためにも重要な取り組みだと思います。 千葉市の指定基準は、絵画・彫刻・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料などを対象とし、製作の優秀さ、特異性、流派や地域的特色、歴史的価値を評価するとなっています。		文化財指定基準の作成が完了したので、今年度より活用しています。 作成に当たっては、東京都や近隣自治体の基準を参考にし、文化財保護審議会委員の意見を反映しました。
57	34	意見	生涯学習推進課（文化財係）	文化財説明版の維持・管理では、文化財説明版の状態はその地域の文化度をはかるバロメーターでもあります。しっかりと計画的整備をお願いしたいと思います。		
58	34	意見	生涯学習推進課（文化財係）	「さわれる土曜日」では、本年7月1日更新の「二宮考古館ホームページへようこそ!」には記載がありませんでした。（市のお知らせHPでの「文化財キーホルダーづくり」と「さわれる土曜日」のお知らせ記事の更新は2025年6月13日でした）とてもいい企画なのにもったいないと思います。		ホームページの整理をした際にリンクの不具合が生じたようですので、復旧しました。
59	35	意見	生涯学習推進課（公民館係）	市民解説員による展示解説等の実施については、「74 市民解説員事業の充実」において市民解説員の高齢化、健康問題、活動できる場の提供などの記載があることから今後の対応等には留意された方が良いかと思います。		
60	36	意見	生涯学習推進課（文化財係）	提起されている人的課題と取組の内容が直接つながらないと思いますが、保存団体の後継者問題は伝統文化継承の根幹なので、後継者育成へどのような支援が有効かを十分に検討されて下さい。		
61	37	意見	図書館	行政資料は後世へ引き継がれるべきものなので、公文書とともに登録保存の徹底が必要かと思います。		
62	38	意見	生涯学習推進課（生涯学習係）（公民館係）	地域の施設を使い、地域の人材を発掘し、活用するという「学習の場」づくりは生涯学習のベースになればならないと思います。		
63	39	質問	環境政策課	自然環境教育にあっては課題にあるように、少人数での実施が基本かと思えます。参加総人数との関係では回数を増やすなどの工夫も必要かも知れません。森の子コレンジャー活動については、OBの参加はとてすばらしいと思います。小宮ふるさと自然体験学校における自然体験学習の参加者（延べ2,408人）の内訳（市内小学生、市内団体・グループ参加者及び市外の参加者）を教えてください。	あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等） 192人 市内小中学校の自然体験事業 740人 その他、学校等の体験事業 150人 団体の自然体験事業（市内の団体） 743人 団体の自然体験事業（市外の団体） 394人 森の子コレンジャー 35人 見学（校内見学）等 152人	【訂正】 延べ人数は、「2,406人」の誤りです。

64	40	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	アーティスト・イン・レジデンス事業（五日市小学校での図工授業、児童館のワークショップ及びアートスタジオの実施）の子ども達や市民の反響等はどうか。どのような成果がありましたか。	五日市小学校での図工授業は、令和6年度は実施していましたが、令和7年度は学校との調整を行いましたが、日程が確保できず実施できませんでした。 五日市児童館でのワークショップは、参加児童へのアンケートは実施していませんが、子どもたちが版画の楽しさを存分に感じ、生き生きと創作に没頭している様子が伺え、満足度が高いように感じています。 オープンスタジオでは、来場者から当該事業の良さをSNS等を活用して、多くの人々に知らせて欲しいとの声をいただきました。	
65	40	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	版画芸術家を招へいされた理由及び選定の経緯を教えてください。	平成5年に行われた「TAMAらいふ21」事業として、国内外の若手版画家の育成と、版画を通じた地域との芸術・異文化交流を図る目的で、本市は版画家の招へいをしました。この流れを継ぎ、現在まで版画家の招へいを継続しています。 選定の経緯は、国内外の若手芸術家を対象に公募を行い、提出された作品実績や活動実績等を基に、有識者等からなる「アートスタジオ五日市運営委員会」において厳正な審査を行い、選定しています。令和7年度においても、芸術的評価や活動歴等を審査し、最適な3人（外国人1人・日本人2人）を招へいしました。	
66	40	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	今後、版画以外の分野での若手芸術家育成の戦略があれば教えてください。	版画以外では、秋川キララホール指定管理者が市内音楽家によるコンサート等実施団体を支援し、若手音楽家の育成を行っています。	
67	41	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	ネットワークの構築は大変ですが、継続的な交流は大切です。		
68	42	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	共同事業における市民ニーズの把握についてはどのような方法を考えられていますか。	親子鑑賞会については、開催時のアンケート実施により集客の高い演目の選定を行っています。 音楽の祭典については、参加者及び観覧者が満足していただける演奏会になるよう公立学校や高等学校、一般音楽団体との調整を行っています。	
69	43	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	ここ数年の市民文化祭への参加団体の動向（参加団体数及び各団体の構成員数の変化）を教えてください。	令和5年度：84団体、令和6年度：100団体、令和7年度92団体、令和8年度90団体 （コロナ禍以前の平成31年度は106団体） 会員数は把握していません。	
70	44	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	第8回あきる野市絵画展の参加された方の人数を教えてください。（7年前との比較も）	令和7年度：応募者43人、応募点数52点 令和元年度：応募者56人、応募点数69点	
71	44	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	受賞作品の活用場の充実については、どのようなことを検討をされていますか。	具体的な活用場については、今後、検討していきたいと考えています。	
72	45	質問	図書館	課題として、他の図書館が所蔵する資料・情報の提供について「迅速に提供できるようする」とありますが、現行の処理では遅延する状況があるということでしょうか。	図書館間で週一回定期便があります。遅延等の苦情はありません。	
73	46	質問	図書館	相互利用の中で、本市から提携市町村の住民に対する貸出冊数は、約9万冊ということですが、あきる野市民が提携市町村の図書館から受けた貸出冊数についての情報はありますか？	令和7年度は21,045冊です。	
74	47	質問	高齢者支援課	介護予防リーダー育成講座受講者は5名とあるが定員は15名？ 介護予防リーダー育成の年度の数値目標を教えてください。	事業の利用定員は15人です。介護予防施策の担い手となるリーダーの養成を目指していきます。	

75	48	質問	障がい者支援課	6つの事業ともに、課題欄に「…必要がある」と記述されていますが、取組に事業の実施回数だけでなく、その取組の成果についてもしっかり記述して欲しいです。それがあって課題のある事業の継続に繋がります。	各事業においては、社会参加や意思疎通の支援などを目的に実施しており、事業実施を通じて障がい者の学習機会の充実が図られているものと捉えておりますので、引き続き事業を実施してまいります。	
76	49	意見	図書館	「新聞書評・地域資料のDAISY化」と「郵送・宅配サービスの実施」の2つの課題欄に「…必要がある」と記述されています。取組には事業の実施報告だけでなく、取り組んだ結果についてもしっかり記述して欲しいです。それがあって事業の継続に繋がると思います。		
77	49	質問	図書館	「機材等貸出サービス」に新たにDAISY再生機を購入したとありますが、何台購入されましたか？また、課題には、利用がなかったので、「広く周知し、利用者を増やす」とありますが、当初、想定していた利用対象者は何人でしたか。	DAISY1台購入 利用対象者の想定人数の設定はありません。	
78	50	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	取組には、補助金を交付したという記載だけでなく、そのことが活動支援の結び付いているという成果などについてももしっかり記述して欲しいです。それがあって支援(継続)に繋がります。 課題の記述の意味が分からないところがあります。(下線) 「引き続き、補助金交付を適正に執行し、規定に基づき補助金交付ができるよう当該団体へ支援することが課題である。」		補助金の交付を単なる資金援助で終わらず、活動の充実と青年の自立に結び付く支援となるよう、活動内容を正確に把握し、予算執行します。
79	51	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	ここ数年のシンポジウムの参加者数を教えて下さい。課題に「テーマ設定や意見交換の手法を工夫」とありますが、具体的に検討されているものはありますか。	令和5年度:65人、令和6年度:80人、令和7年度:80人 具体的に検討しているものについては、現在のところありませんが、開催委託先の生涯学習コーディネーターの会と協議する予定です。	
80	52	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	課題の記述は、「情報誌の発行・配布だけにとどまらず公民館の講座等の情報を継続して周知しなければならない」という意味ですか？情報誌の発行・配布だけでは成果がない、不足だという意味だとすると別に周知事業を立てなければならないことになりますが…。	課題の記述については、公民館情報誌の発行及び配布を「継続すること」についてのものです。平成31年1月に開始した月刊「のらぼう」は今年で発行7年目となり、公民館の事業を知るツールとして認識されるようになりました。より多くの市民に公民館を知っていただき、講座や事業に参加していただけるよう、引き続き月刊「のらぼう」を発行し、配布していきます。	
81	54	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	調査シートには「取組」「課題」しかなく、「成果」(得られた結果)の欄がありません。評価の根本的な問題にかかわることになりますが、主管課での取り組みと成果という評価がなければ課題は出てきません。 市民会議では、それらを受けて「関係者評価」として事業評価することになります。		次期計画にはPDCAサイクルを明記し、各会議体の役割を示します。 また、評価シートの項目を変更します。
82	55	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	「学習拠点としての中央公民館の整備」が命題ですが、取組には「適正な管理運営が行った」とあります。しかし、課題には「継続的に市民が活動しやすい環境を整備する必要がある」とあります。両者の記述は整合性が取れないと思いますが、なお、「各施設の再編等に関する実施計画など(令和8年4月1日時点)」に記載されている中央公民館の再編等の方向性は「規模縮小・複合化」となっています。		

83	56	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	「学習相談」及び「組織作りに関する相談」についての各々相談件数を教えてください。3つの事業の課題欄に「…必要がある」と記述されていますが、取組の内容・実施件数だけでは判断できません。その取組の成果についてもしっかり記述する必要があります。それがあってこそ継続に繋がります。	件数のカウントは行っていません。 学習相談や組織づくりについての相談があった時には、窓口及び電話等において随時情報の提供や助言を行っています。 学習相談後、相談者がサークルに加入した、サークルを立ち上げた、グループを合併して活動することにしたなどの報告があります。	
84	57	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係) (公民館係)	ホームページを広報も一方的に「お知らせ」を中心に市民に伝えるものである ので情報がしっかり浸透しているかどうかは、現状では市民からの電話や応募、申し込みなどで判断するしかない。課題に「デジタル媒体」の記述にあるように今後は、お知らせ中心の情報発信から住民との双方向のコミュニケーションを実現するツールへの進化が求められてくると思います。		
85	58	意見	図書館	「調査を希望する利用者」についての統計数字はありますか。利用者向けのレファレンス講座の取り組みはまだ受講者は少ないようですが、大事な取り組みかと思っています。また、「デジタルレファレンスサービス」の時代に備える必要も出てくるかも知れませんね。		
86	59	質問	図書館	市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっていますね。 中央図書館及び東部図書館に設置したWi-Fiの利用件数の1,818件は、少ないという評価ですか。	同時アクセス数が各館4人までとなっているため、今後、多くの利用者がWi-Fiを利用できるようフリーWi-Fiの導入を検討します。	
87	59	質問	図書館	来館困難者の宅配サービスについては、視覚障害・肢体不自由・寝たきりなどの方や妊婦または出産後1年以内の図書館へ来館が困難な方に限定している市もありますが、本市の「来館困難者」の定義（範囲）を教えてください。	市内在住で通常の活字では読書が困難な方や肢体不自由・寝たきりなど図書館への来館が困難な方です。	
88	60	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	指定管理者と連携を密にしながら、継続して日々の適正な施設管理を行っていることは評価します。市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっています。		
89	61	意見	スポーツ推進課	指定管理者と連携を密にしながら、継続して日々の適正な施設管理を行っていることは評価します。市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっています。		
90	62	意見	生涯学習推進課 (文化財係)	日々、適正な施設管理を行っていることは評価します。市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっています。		

91	63	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	指定管理者と連携を密にしながら、継続して日々の適正な施設管理を行っていることは評価します。市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっています。		
92	64	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	指定管理者と連携を密にしながら、継続して日々の適正な施設管理を行っていることは評価します。市は本年3月に「第2期公共施設等総合管理計画」（令和8年度から令和17年度までの10年間）を策定して、管理する公共施設等の中長期にわたる適正な維持管理に関する基本的な方針を定めていますが、「施設設備の適正な維持管理」については、施設の老朽化に伴って計画的な修繕が必要となっています。		
93	65	意見	スポーツ推進課	施設利用の公平・公正さは利用者にとって極めて重要です。課題にあるように平準化や時代背景としてオンライン決済利用者の利便性向上は必須かと思えます。		
94	66	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	コーディネーターの養成は計画的に進めなければなりません。受講者5名ということですが、今期の計画養成人数は。受講者の伸び悩みに関連して、ここ数年の受講者の属性（性別、年齢、受講動機など）が判れば教えて下さい。	令和5年度4人（男2・女2）、令和6年度6人（男4・女2）、令和7年度5人（女5） ※年齢及び受講動機は把握していません。 総合計画の成果指標では、計画目標を8人と設定しています。	
95	66	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	生涯学習シンポジウムの参加者80人の内訳が判れば教えて下さい。（一般来場者の数も）	一般来場者数50人、来賓6人、運営スタッフ24人	
96	67	質問	スポーツ推進課	今回の体験会、研修に参加された方の人数を教えてください。	①西多摩地域広域行政圏スポーツ大会スポーツフェスタ（あきる野市・檜原村主管）249人 ②第7ブロックスポーツ推進委員研修会（あきる野市主管）71人 ③スポーツの日スポーツフェスティバル（市主催）526人	
97	67	意見	スポーツ推進課	スポーツ指導者には、スポーツに関する最新の知識・情報の習得と新たなスポーツ種目の体験など、幅広い年齢の競技者への指導・助言と指導技法だけでなく、コーチングや暴力やハラスメントの排除など強い倫理観の徹底・指導が求められます。 課題にある指導層の高齢化の問題と「スポーツ離れ」はスポーツ界に大きな影を落としている。「スポーツは面倒くさいからやらない」が3割弱、「現在運動・スポーツはしておらず今後もしない」と答えた無関心層の割合も2割に迫る勢いになっている。（令和5年度文科省調査） こうした状況から、若年層のスポーツ人口減少をどう食い止めるもスポーツ指導者の役割の一つと言っても過言ではないと考えます。		
98	68	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	5団体の補助金額等について教えてください。 団体への活動支援のための補助金はその財源の多くは市民からの税金によって成り立っていることから、交付する根拠や使途についても市民の十分な理解を得ることが必要です。あくまで、独立した各種団体に対して、その主体的な活動を支援するための事業補助金であると思います。	【青少年健全育成地区委員会】2,880,000円 小学校区10地区に対し、児童数に応じて配分した。 (232,000円～330,000円) 【中学校区健全育成推進会議】180,000円 中学校区6地区に対し、30,000円ずつ配分した。 【五日市小学校PTCA】110,000円 【青少年顕彰ふるさと委員会】225,000円 【あきる野市国際化推進青年の会】45,000円	

99	69	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係) (文化財係) (公民館係)	生涯学習課の4つの研修会(見学会)のそれぞれの参加人数を教えてください。	①社会教育行政関係研修 延べ2人 2回/年 ②文化行政関係研修 延べ2人 2回/年 ③青少年行政関係研修 延べ2人 2回/年 ④三多摩公立博物館協議会主催の加盟館の展示などの取組事例紹介及び見学会 2人 ⑤博物館IPMに関する研修会 2人 ⑥東京都公民館連絡協議会主催新任職員研修 1人	
100	70	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係) (文化財係) (公民館係)	補助金を交付した3団体の名称及び補助金額を教えてください。	①小中学校PTA連合会 1,471,280円 ②ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 80,000円 ③青少年学級すまいる 450,000円 ④あきる野市郷土芸能連合会 1,872,000円 ⑤あきる野市文化団体連盟 1,600,000円	
101	71	質問	図書館	図書館ボランティアのそれぞれ延べ人数でなく、実数を教えてください。課題にある「ボランティア間の交流会?」のイメージは。	①子ども向けボランティア 22人 ②布の絵本作製ボランティア 9人 ③本の修理・整架ボランティア 18人 ④音訳ボランティア13人	
102	71	質問	図書館	図書館司書実習の受け入れの「依頼」はどこから来るのかも教えてください。	司書(図書館実習)課程のある大学から依頼が来ます。	
103	72	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	市民解説員養成講座受講者について延べ人数でなく、実数を教えてください。 「入門講座」履修者を対象に解説実習を実施し、新たに1人を市民解説員として合格判定したとありますが、受験された「入門講座」履修者の人数は何人ですか。 市民解説員の高齢化も問題は、避けて通れない問題なので、何等かの対策を講じるべきと考えます。(引退、病気退職の制度化)	養成講座受講者の実数は21人です。 入門講座履修者の実数は3人(見込み者含む)です。 市民解説員については、毎年度活動調査を行い、個人の体調や都合で、活動休止あるいは引退の申し出もできるようにしています。また、活動できる環境が整えば、復活できる体制をとっています。	
104	72	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	課題に、「市民解説員に必要に応じて、解説活動への継続した支援を行う必要がある。」とありますが、具体的な助言等の内容はどのようなものですか。	個人の活動の仕方、解説コースや見学場所・内容、個人の調べたいこと、社会教育施設での解説における環境の整備への相談などへの情報提供や助言を行っています。	
105	73	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	人材バンクの稼働(活用)率は(59件中) 登録者の分野が固定化について、登録者募集の際にこちらからの(分野)希望は出されなかった?(市民ニーズの把握は大事ですね) 最終的には、マッチングですから、需要と供給が合わないとか。	令和5年度:3件、令和6年度:6件、令和7年度:5件 (稼働率でなく、紹介件数での回答になります) 「あきる野市生涯学習人材バンク事業実施要綱」の規定に基づき、登録できる要件の範囲内で募集を行っていたことから、市側の(分野)希望は出していません。	
106	73	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	課題にありますが、登録のメリットや実績(お呼びがかからない)がないと厳しいかも知れませんね。		
107	73	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	課題にありますが、学校支援ボランティアは結果報告で、事前把握は難しいということですね。確保は学校任せの部分が大きいですから。		
108	74	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	市民カレッジ入門講座受講者は延べ52人とのことですが、実数は何人ですか。	21人	
109	74	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	だよりの発行は有効だったと思います。		
110	74	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	課題にある、市民解説員の高齢化対応もあり、市民解説員の登竜門でもある「市民カレッジ」入門講座受講生を増やすことは確かに急務です。そのための講座周知も。		

111	74	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	課題に記述されている「市民解説委員の活躍の場の拡大」提案にある、「市民との多様な関わり方ができる場」とはどのようなところを想定されていますか。	高齢化等により現在の活動に参加しづらい方も参加できる場などを整備していくことが必要と考えています。	
112	75	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係) (公民館係)	事業参加者の延べ人数は、実数カウントされていますか。判っていれば参加者の実数を教えて下さい。生涯学習の分野において避けるべきは団体の固定化です。ご指摘の通りかと。	①生涯学習コーディネーター養成講座 5人 ②生涯学習ふれあい塾(6講座) 115人 ③生涯学習シンポジウム 80人	
113	75	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係)	市民団体が主体となって活動し、生涯学習に寄与する事業についての後援名義はご指摘の通りです。		
114	75	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	「第26回女と男のライフフォーラムinあきる野」の参加者数を教えて下さい。	79人	
115	76	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係) (公民館係)	それぞれの参加者数について、延べとありますが、実数はカウントされていますか。判っていれば実数を教えて下さい。また、ここ数年の参加者の動向(増減等)も教えて下さい。	市民ふれあい塾(6講座) 115人 市民企画講座の参加者実数は把握していません。	
116	76	意見	生涯学習推進課 (生涯学習係) (公民館係)	生涯学習の分野において避けるべきは団体の固定化です。どんな組織でも運営側の高齢化は避けては通れないことから、早めの対策、後継人材の確保策や組織改革を提案すべきだと思います。		
117	77	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	公民館の定期利用団体は現在、いくつありますか。文化系団体の会員の減少問題は、一部の会員が長く愛好する一方で、若手の入会はわずかととなり、活動がストップしてしまうという状況が生まれています。今、手を打たなくては今後、消滅、休止する団体も少なくないのではないかと危惧をしています。スポーツ団体でも会員が3割減となったところもあると聞きます。今、まさに長期的な視野に立っての抜本的な対策が必要になっていると思います。	70団体(令和8年8月現在)	
118	78	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	市民文化祭への参加団体は何団体ですか。ここ数年の参加動向も教えて下さい。	令和5年度:84団体、令和6年度:100団体、令和7年度92団体、令和8年度90団体 (コロナ禍以前の平成31年度は106団体)	
119	78	意見	生涯学習推進課 (公民館係)	高齢化を巡る問題は、一部の会員が長く愛好する一方で、若手の入会はわずかととなり、活動がストップしてしまうという状況が生まれています。今、手を打たなくては消滅、休止する団体もさらに増えるのではないかと危惧をしています。今、まさに長期的な視野に立っての抜本的な対策が必要になっていると思います。		
120	78	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係)	「第17回あきる野市生涯学習シンポジウム」については、延べ80人の参加とありますが、実数を教えて下さい。	一般来場者数50人、来賓6人、運営スタッフ24人	
121	79	質問	生涯学習推進課 (公民館係)	社会教育関係団体等が市民文化祭や産業祭等を活用して、日頃の活動成果を発表したとありますが、何団体、何名の会員が参加されたのでしょうか。高齢化を巡る問題は、一部の会員が長く愛好する一方で、若手の入会はわずかととなり、活動がストップしてしまうという状況が生まれています。今、手を打たなくては消滅、休止する団体もさらに増えるのではないかと危惧をしています。今、まさに長期的な視野に立っての抜本的な対策が必要になっていると思います。	市民文化祭では、社会教育関係団体92団体が参加しました。参加された会員数は把握できていません。	
122	80	質問	生涯学習推進課 (生涯学習係) (公民館係)	展示施設の利用促進では、この2つの展示施設の利用件数、利用者数は想定通りでしたか。こうした場の確保は行政の大事な役割だと思います。	あきる野ルビア展示室の利用は、絵画等展示利用のほか、ダンスや太極拳などの利用もあります。展示利用の割合はあまり多くなく、また、貸出し枠に余裕があるので、広く活用を促します。 中央公民館ギャラリーの利用は概ね想定通りでした。	

123	81	意見	生涯学習推進課 （生涯学習係）	非営利団体の動向は、全国のは数は54,141件。2025年中に増えたもの1,164件、閉鎖されたもの1,764と（2025年8月13日現在・国税庁データ）減少傾向となっている。 また、東京都生活文化局（都民生活部 管理法人課NPO法人担当）において、初めてNPOの設立申請を行う方などを対象に説明会や個別相談を実施しています。 社会福祉協議会でNPO関係の相談業務を行っている市もあることから個別の相談対応を市で行うかどうかを含めて検討すべきであると考えます。	
-----	----	----	--------------------	---	--